

畑作用除草剤 (飼料用とうもろこし)

モーティブ[®] 乳剤



畑作用除草剤 定番2剤の
いいとこどり

イネ科・広葉両雑草防除の決定版

ゴーゴーサン
乳剤

一年生イネ科雑草に長期持続効果

フィールドスターP
乳剤



シロザ



ホンアオゲイトウ



イチビ

写真提供: HP埼玉の農作物病害虫写真集

上手な使用方法

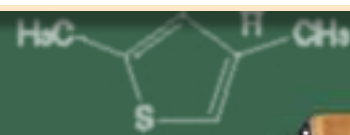
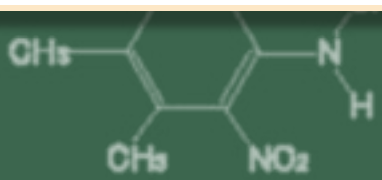
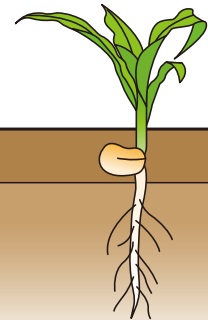
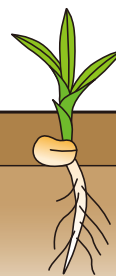


雑草が発生する前に散布すると効果的!

おすすめタイミング

散布時期

は種後~2葉期



特長



広範囲の畑地一年生雑草に有効!!

フィールドスターP乳剤とゴーゴーサン乳剤の2剤の働きでより広い範囲の雑草に有効です。

持続効果に優れる!!

土壌処理で長期間にわたり効果が持続します。

処理時期にゆとり!!

土壌処理剤ですが、とうもろこしのは種後から2葉期、イネ科雑草の2葉期まで散布でき、処理時期にゆとりがあります。

問題雑草への効果 ○:極大 ○:大

ヒユ科

シロザ(○)、ホソアオゲイトウ(○)

ツクサ科

ツクサ(○)

アオイ科

イチビ(○~○)

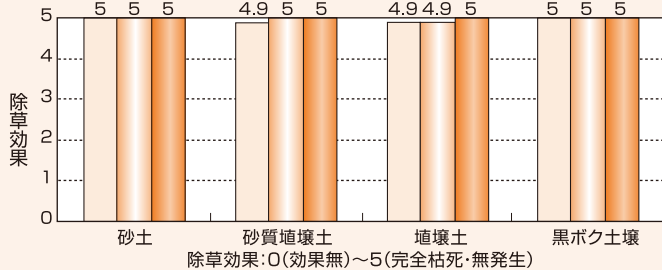
適用雑草と使用方法(とうもろこしを抜粋)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量		本剤の使用回数	使用方法	ジメテナミド及びジメテナミドPを含む農薬の総使用回数	ベンディメタリンを含む農薬の総使用回数
			薬量	希釈水量				
とうもろこし	一年生雑草	は種後~ とうもろこし 2葉期 (イネ科雑草) (2葉期まで)	200~400 mℓ/10a	100~150 ℓ/10a	1回	全面土壌散布	1回	1回
飼料用 とうもろこし								

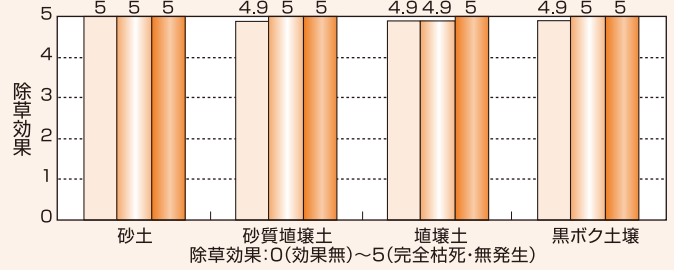
土質・土性と効果

モーティブ乳剤は土質・土性によらず、安定した除草効果を示します。(但し、薬害面から砂土での使用はさけてください。)

■イヌビエ



■ホソアオゲイトウ



油日アグリサーチ(株) (2010年)

試験方法概略

ポット試験:ポット(1/10,000a)に各土壌を入れ、イヌビエないしホソアオゲイトウを適量は種。各薬剤を土壌表面処理した。
 散布水量:100ℓ/10a相当 雑草は種日:5月17日 処理日:5月17日 調査日:6月21日(処理35日後)

□:1/4量 □:1/2量 ■:標準量(300mℓ/10a)

使用上の注意事項

効果・薬害などの注意

- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
- 砂土では使用しないでください。
- 雑草の生育が進むと効果が劣るので、必ず時期を失わないように散布してください。
- 散布直後の多量の降雨は薬害のおそれがあるので、天候を見きわめてから散布してください。
- 砕土、整地はていねいに行い、種子が露出しないように覆土はできるだけいねいに行い、覆土深を2~3cm以上にしてください。
- 本剤はとうもろこしのマルチ栽培では薬害を生じるおそれがあるので使用しないでください。
- 散布に当たっては、他作物に飛散しないよう十分注意して使用してください。
- 本剤は自動車や壁などの塗装面に散布液がかかると変色するおそれがあるので、散布液がかからないよう注意してください。
- 散布に使った器具類は良く水洗いして、他の用途に使用する時は影響のないように注意してください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。

魚毒性等

- 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具、容器の洗浄水は河川等に流さないでください。また、空容器などは水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

安全使用上の注意

- 誤飲などのないよう注意してください。
- 誤って飲み込んだ場合には吐かせないで、直ちに医師の手当を受けさせてください。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受けてください。
- 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 本剤は皮膚に対して刺激性があるので皮膚に付着しないように注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落としてください。
- 散布の際は農業用マスク、不浸透性手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- 漏出時は、保護具を着用し布・砂等に吸収させ回収してください。
- 移送取扱いはていねいに行ってください。

保管

- 火気をさけ、食品と区別して、直射日光が当たらない低温な場所に密栓して保管してください。

1.使用前にラベルをよく読んでください。 2.ラベルの記載以外には使用しないでください。 3.小児の手の届く所には置かないでください。 4.使用後の空容器は圃場などに放置せず、環境に影響のないよう適切に処理してください。 5.防除日誌を記帳しましょう。

●このチラシの記載内容は2021年2月現在のものです。

BASFジャパン株式会社

〒103-0022 東京都中央区日本橋室町3丁目4番4号 OVOL日本橋ビル3階
 ☎0120-014-660 <https://crop-protection.basf.co.jp/>

4501-001 5
202102